



# TBS

## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月5日

上場会社名 株式会社TBSホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略局長 (氏名) 小杉 尚 TEL 03-3746-1111  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	86,415	25.0	8,765	144.6	12,488	53.6	8,139	71.4
2021年3月期第1四半期	69,118	△21.9	3,584	△28.1	8,130	△19.5	4,749	△27.0

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 11,462百万円 (△81.2%) 2021年3月期第1四半期 61,124百万円 (907.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	47.67	—
2021年3月期第1四半期	27.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,098,117	806,045	72.2
2021年3月期	1,100,223	794,884	71.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 792,758百万円 2021年3月期 781,373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	346,100	6.3	16,000	47.6	25,200	31.0	16,100	△42.6	94.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	174,709,837株	2021年3月期	174,709,837株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	3,940,734株	2021年3月期	3,940,332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	170,769,387株	2021年3月期1Q	171,067,937株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種が始まり、持ち直しの動きもみられるものの、感染者数が再拡大し、緊急事態宣言の長期化などにより個人消費が停滞するなど、先行きは依然不透明な状況が続いております。

テレビ広告市況は多くの業種で景況が回復しており、スポット広告費の関東地区投下量は前年同期比155.8%と大幅に改善しました。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、タイム・スポット収入の大幅な増収などにより、864億1千5百万円(前年同期比25.0%増)となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、番組制作費や広告代理店手数料の増加などにより、776億4千9百万円(前年同期比18.5%増)となりました。

この結果、営業利益は87億6千5百万円(同144.6%増)となりました。また、経常利益は124億8千8百万円(同53.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は81億3千9百万円(同71.4%増)となりました。

### ◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は682億3千万円(前年同期比24.0%増)、営業利益は、62億1千6百万円(同151.1%増)となりました。

(株)TBSテレビのテレビ部門の当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、112億3千3百万円増収の478億6千2百万円(前年同期比30.7%増)となりました。このうち、タイム収入が202億7千7百万円(前年同期比6.9%増)、スポット収入が218億6千6百万円(同54.7%増)、国内番販や無料動画配信での広告収入を含むコンテンツ収入が46億7千7百万円(同80.6%増)となりました。タイム収入については、「マスターズ」をはじめとするスポーツイベントが復活するなど、単発番組の好調により、増収となりました。スポットセールスについては、広告主による関東地区投下量の前年同期比55.8%増が大きく貢献し、大幅な増収となりました。5局シェアは20.4%と前年同期比0.1ポイント減となりました。コンテンツ収入については、前年同期の巣ごもり需要による番販の活況からの反動減があったものの、ドラマを中心とした無料・有料動画配信の好調によって大幅な増収となりました。

(株)TBSテレビの事業部門の当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、8億7千3百万円増収の51億5千5百万円(前年同期比20.4%増)となりました。

催事・興行では、「スターズ・オン・アイス ジャパンツアー2021」や「舞台『刀剣乱舞』无伝 夕紅の士-大坂夏の陣-」などが上演され、増収となりました。

海外事業では、中国・韓国への番販環境の回復や、SASUKEなどフォーマット販売も増加し、増収となりました。一方で、メディア事業は、CS事業がチャンネル単価の向上などにより好調でしたが、有料配信事業のテレビ部門への移管により、減収となりました。

(株)BS-TBSの当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、タイムレギュラーセールスの苦戦がありつつも、プロ野球、ゴルフ、バレーボールなどスポーツ番組の再開による反動増で、1億3千6百万円増収の38億6千7百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

(株)TBSラジオの当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、タイムセールスが堅調に推移し、7千7百万円増収の20億4千2百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

費用面においては、レギュラー番組の制作やスポーツ単発の復活による制作費の増加に加え、事業部門も催事・興行の上演再開などにより費用が増加しました。また、広告代理店手数料の増加などがあり、同セグメントにおける営業利益は37億4千1百万円増益となる62億1千6百万円(前年同期比151.1%増)となりました。

### ◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は、142億3千4百万円(前年同期比39.5%増)、営業利益は5億3千3百万円(前年同期は9億4百万円の営業損失)となりました。

スタイリングライフグループでは、通信販売事業の(株)ライトアップショッピングクラブが巣ごもり需要拡大基調の中、顧客数および顧客単価を伸ばし増収増益となりました。中核の小売事業「プラザスタイルカンパニー」は、緊急事態宣言の発出による店舗休業や時短営業を強いられたものの、前年同期よりも対象施設が限定的だったこともあり、増収増益となりました。

### ◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は39億5千万円(前年同期比1.9%増)、営業利益20億1千4百万円(同0.0%減)となりました。

前年同期における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う赤坂Bizタワーの稼働低下からの反動増と修繕費の増加などにより、増収微減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1兆981億1千7百万円で、前連結会計年度末に比べて21億6百万円の減少となりました。現金及び預金が配当金や税金の支払い等により117億8千8百万円減少した一方、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が41億6百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は2,920億7千1百万円で、前連結会計年度末に比べて132億6千6百万円の減少となりました。保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が28億3百万円増加した一方、税金の支払い等により未払法人税等が130億9千7百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は8,060億4千5百万円で、前連結会計年度末に比べて111億6千万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き78億9千5百万円増加、その他有価証券評価差額金が35億6百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は72.2%、1株当たりの純資産は4,642円28銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、2021年5月14日公表の予想を修正いたしました。詳細については、本日(2021年8月5日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	116,121	104,333
受取手形及び売掛金	43,008	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	40,940
有価証券	—	40
商品及び製品	7,610	8,048
番組及び仕掛品	6,287	8,760
原材料及び貯蔵品	554	639
前払費用	8,063	10,515
その他	8,554	13,303
貸倒引当金	△147	△155
流動資産合計	190,053	186,427
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	210,807	211,375
減価償却累計額	△123,473	△125,163
建物及び構築物（純額）	87,333	86,211
機械装置及び運搬具	76,882	77,403
減価償却累計額	△69,382	△70,207
機械装置及び運搬具（純額）	7,500	7,195
工具、器具及び備品	32,854	17,889
減価償却累計額	△30,448	△15,439
工具、器具及び備品（純額）	2,406	2,449
土地	126,409	126,574
リース資産	1,954	2,197
減価償却累計額	△1,592	△1,753
リース資産（純額）	361	443
建設仮勘定	7,871	6,982
有形固定資産合計	231,883	229,857
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	7,062	7,050
のれん	11,408	10,959
その他	762	797
無形固定資産合計	19,234	18,807
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	646,435	650,542
長期貸付金	210	189
繰延税金資産	2,477	2,189
長期前払費用	169	250
その他	9,951	10,045
貸倒引当金	△192	△192
投資その他の資産合計	659,052	663,025
固定資産合計	910,170	911,689
資産合計	1,100,223	1,098,117

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,289	35,549
1年内返済予定の長期借入金	600	600
未払金	13,439	8,914
未払法人税等	14,893	1,795
未払消費税等	2,359	2,627
未払費用	1,723	1,755
賞与引当金	3,940	1,122
役員賞与引当金	40	6
その他	9,890	17,583
流動負債合計	86,176	69,954
固定負債		
長期借入金	27,000	27,000
退職給付に係る負債	15,128	15,383
リース債務	436	447
繰延税金負債	161,073	163,877
その他	15,523	15,408
固定負債合計	219,162	222,116
負債合計	305,338	292,071
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	47,473	47,473
利益剰余金	328,723	336,618
自己株式	△6,376	△6,377
株主資本合計	424,807	432,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356,515	360,021
繰延ヘッジ損益	49	46
為替換算調整勘定	△8	△9
退職給付に係る調整累計額	9	△1
その他の包括利益累計額合計	356,566	360,056
非支配株主持分	13,511	13,287
純資産合計	794,884	806,045
負債純資産合計	1,100,223	1,098,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	69,118	86,415
売上原価	46,986	56,001
売上総利益	22,131	30,413
販売費及び一般管理費	18,547	21,648
営業利益	3,584	8,765
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	4,131	4,177
持分法による投資利益	442	—
その他	153	128
営業外収益合計	4,731	4,309
営業外費用		
支払利息	10	23
持分法による投資損失	—	80
固定資産除却損	45	47
固定資産圧縮損	21	0
投資事業組合運用損	—	315
その他	106	117
営業外費用合計	185	586
経常利益	8,130	12,488
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,081
特別利益合計	—	1,081
特別損失		
事業構造改善費用	—	1,176
感染症拡大に伴う損失	※ 1,314	※ 150
投資有価証券評価損	157	103
組織再編関連費用	36	—
特別損失合計	1,507	1,430
税金等調整前四半期純利益	6,622	12,139
法人税、住民税及び事業税	1,835	2,443
法人税等調整額	497	1,723
法人税等合計	2,332	4,166
四半期純利益	4,290	7,972
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△459	△166
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,749	8,139



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	4,290	7,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,827	3,518
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	△8	△0
退職給付に係る調整額	10	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△14
その他の包括利益合計	56,834	3,489
四半期包括利益	61,124	11,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,581	11,629
非支配株主に係る四半期包括利益	△457	△166

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 感染症拡大に伴う損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの要請や声明等を踏まえ、イベントの中止、店舗営業の自粛により発生した固定費（人件費・賃借費・減価償却費）等を「感染症拡大に伴う損失」として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,032	10,207	3,878	69,118	—	69,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69	6	1,194	1,270	△1,270	—
計	55,102	10,213	5,072	70,389	△1,270	69,118
セグメント利益又は損失 (△)	2,475	△904	2,014	3,585	△0	3,584

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	68,230	14,234	3,950	86,415	—	86,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	0	1,246	1,331	△1,331	—
計	68,314	14,235	5,197	87,747	△1,331	86,415
セグメント利益	6,216	533	2,014	8,764	0	8,765

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

㈱TBSテレビ事業収入の内訳 (第1四半期)

(単位: 百万円)

区分	前第1四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	比較		前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	36,629	47,862	11,233	30.7	168,147
タイム	18,965	20,277	1,312	6.9	78,467
スポット	14,131	21,866	7,735	54.7	69,879
コンテンツ	2,589	4,677	2,087	80.6	15,870
その他	943	1,041	97	10.3	3,929
事業	4,282	5,155	873	20.4	18,441
不動産	753	746	△6	△0.9	3,026
合計	41,665	53,764	12,099	29.0	189,615

(注)前第1四半期において事業部門に含まれていた配信事業にかかる収入の一部について、前事業年度の第2四半期よりテレビ部門のコンテンツ区分で集計しております。なお、前第1四半期について、当該変更による組替を行っておりません。